

平成30年度第5回理事会議事概要

日 時 : 平成30年8月10日(金) 15:00～15:30

場 所 : テレビ会議 (つくば市、日立市、川崎市)

出席者	理事長	沢田 治雄
	理事(企画・総務・森林保険担当)	柳田真一郎
	理事(研究担当)	田中 浩
	理事(育種事業・森林バイオ担当)	川野 康朗
	理事(森林業務担当)	大山誠一郎
	理事(法令遵守担当)	井田 裕之
	監事	鈴木 直子
	監事	平川 泰彦
	総括審議役	吉野 示右
	総括審議役	小山富美男
	総括審議役	大貫 肇
	審議役	合田 和弘
	企画部長	坪山 良夫
	総務部長	永山 正一

1. 開会

(吉野総括審議役)

平成30年度第5回理事会を開催いたします。

本日は報告事項が8件です。それでは順次、説明をお願いいたします。

2. 議事

I-1 平成30年度の会計監査人の決定について

(柳田理事)

第4回理事会において平成30年度会計監査人候補者の選定について承認いただき、手続きを進めてきました。8月7日付けで農林水産大臣からPwCあらた有限責任監査法人を会計監査人に選任したとの通知がありましたのでお知らせします。

I-2 平成31年4月期職員の採用について

(永山総務部長)

平成31年4月期職員の採用について、現在の予定をお知らせします。研究職員については平成31年4月パーマネントとテニユア型任期付で採用を進めておりますが、採用予定数は現在調整中です。今後の予定は10月下旬に一次試験、11月中旬に二次試験を予定しています。一般職員については森林総合研究所で5名程度、森林保険センターで若干名の採用を予定しています。日程については研究職員採用と同じ時期で考えています。

(鈴木監事)

二次試験は面接かと思いますが、その際は男性だけでなく女性の視点を活かしてほしいと思います。面接担当に女性がいないのであれば外部の人事コンサルタントをお願いして、是非、男性・女性の視点で見ていただけたらと思います。

また森林保険センターですが、前回プロパーを選ぶとき内部からでしたが、今回はどうなのでしょう。

(永山総務部長)

女性視点を含めた面接というご意見ですが、森林総合研究所の全ての試験に共通する面接官の人选については残念ながら男性だけです。ただ、今年度の中途採用等を見ていただければわかるように、男女での差異は付けていません。その点ご理解いただきたいと思います。

森林保険センターについては、一般から募集することで考えています。

(大貫森林保険センター所長)

今回は広く全国から募集をすることで進めています。

(田中理事)

研究職員の場合ですが、研究領域によって女性領域長あるいは拠点長がいますので、その分野での採用の場合は必然的に面談等に加わるようになりますが、女性視点を入れるということで、全ての採用面接に女性管理職員が加わるということはありません。採用において女性の採用割合という数値目標はありますが、男女の区別ということはありません。

I－3 障害者の雇用状況について

(永山総務部長)

「障害者の雇用の促進等に関する法律」において、従業員数50名以上の事業主は、その雇用する労働者に占める身体障害者・知的障害者の割合が法定雇用率以上になるよう義務づけられています。当法人は国・地方公共団体等に分類されますので、法定雇用率は2.5%に対し、法に基づく報告日である本年6月1日時点での雇用率は2.63%となっており、法定雇用率を上回っています。

引き続き障害者の雇用促進には努めていく必要があることをご理解願います。

(鈴木監事)

一般的な採用方法と違うかと思いますが、どのように行っているのでしょうか。

(永山総務部長)

障害者採用枠という形で行っているのではなく、いま現在そのような方が雇用されているということです。当法人の雇用率が法定雇用率を下回るあるいは非常に接近するとなりましたら、そのような枠を作って採用するということも検討しなければならないと思っています。

I－4 厚生労働省「女性の活躍推進企業データベース」の掲載データの更新について

(柳田理事)

厚生労働省に「女性の活躍推進企業データベース」があり、当法人のデータも掲載しており、8月にデータを更新しました。具体的には、採用した労働者に占める女性労働者の割合、労働者に占める女性労働者の割合、男女別の育児休業取得率、管理職に占める女性労働者の割合等が掲載されています。

自由記述欄には当法人の目標を記載し、女性研究職の比率を17%とする、管理職に相当する研究所の職位に占める女性の比率を7%、一般職、研究職ともに採用比率を30%、男性職員の育児休業取得率10%を掲げていますが、実績では、男女別の育児休業取得率では一般職の男性職員で実績がなかったことや、管理職に占める女性労働者の割合が3.3%でした。育児休業については対象者が限られてくるのですが、啓蒙を続けながら取り組んでいきたいと思っています。管理職に占める女性労働者の割合は各組織の状況によって難しいところがありますが、取り組む必要があると思っています。

I－5 西日本豪雨災害に関する森林防災関係分野の対応状況について

(坪山企画部長)

本年7月の豪雨では広島をはじめ、西日本の各地で崩壊や土石流による甚大な被害が発生しています。7月下旬に行われた支所長・育種場長・整備局長等会議においても各地の状況についても報告がありましたが、それとは別に研究開発部門としてどのような対応をしているかについて報告します。

7月14日、近畿中国森林管理局から兵庫県で発生した崩壊について調査への協力要請があり、関西支所の多田主任研究員が調査に同行しています。

また、7月26～29日には林野庁が広島県及び愛媛県を対象にした調査団を派遣し、その調査団に森林防災研究領域の岡田山地災害研究室長が同行しました。広島県及び愛媛県の調査結果は、8月6日に林野庁ホームページに公表されています。

今後、年度内に更に2回程度の現地調査が計画されており、岡田室長が同行する予定です。

その他、森林防災研究領域では災害対応の支援としてレーダー雨量データの解析や地理情報の分析を行っています。また、技会委託プロ「災害低減」の共同研究機関である岐阜県に対してデータ提供などの支援を行っています。

(沢田理事長)

林野庁や外部からの委託に対応することが多いと思いますが、突発的な災害に対して研究者が研究したいというのは「災害低減」プロで賄いきれているのでしょうか。あるいは、突発的な災害に対する研究を行う必要はどのようなのでしょうか。

(坪山企画部長)

必要はあると思います。

(沢田理事長)

ある程度対応できるシステムを作る必要があるかと思います。

(坪山企画部長)

システムとして確立されているとまでは言えないかもしれませんが、このような災害があった場合、現場の状況がある程度落ち着いてから、この分野の職員が現地に集まり、どのようなことが問題になっているか、研究として何ができるか等について現場を見ながらディスカッションする機会を設けることがあります。そのような議論を踏まえて、研究としてきちんと立ち上げるべき部分があれば、交付金プロなり外部資金プロでの課題化を目指すようにしています。

(沢田理事長)

社会的なニーズに対応するのも機構として大切かと思います。

(田中理事)

交プロ 2 の緊急対応課題を使うようにしています。

(平川監事)

木材関係の研究者から広島で木造住宅関係の調査を行ったと聞きましたが、森林総合研究所として何か特別なことは行っているのでしょうか。

(坪山企画部長)

熊本地震では、木材部門の研究者が現地に赴き、木造建築物の被害状況の調査・分析を行っていましたが、今回の件は、まだきちんと状況を把握していませんので、関係する研究ディレクターや研究領域長へ確認します。

(田中理事)

研究者が勝手に現場へ入らないように、県等に連絡を取って正式に調査に入ることを現場に伝えてから現地調査に入るという形にしています。

I－6 カラマツ育種技術連絡会・情報交換会の開催について

(川野理事)

カラマツ種苗の安定供給に係る課題に対する研究成果の情報発信や、関連する技術情報の提供等を目的として、平成 29 年度にカラマツ育種技術連絡会を立ち上げたところです。その後、会員募集、メーリングリストの作成、メルマガの発行などを行ってきましたが、農研機構生研センター・地域戦略プロジェクト「カラマツ種苗の安定供給のための技術開発」において一定の成果が出てきたことから、成果の橋渡しを見据えながら、関係機関との情報交換会を 8 月 8 日～9 日に岩手県奥州市にある岩手県立緑化センターで開催しました。北は北海道から南は岡山県まで、カラマツ種苗生産に関わる森林管理局・署、道県担当者等約 70 名に参加いただき、活発な意見交換が行われました。

当日は、地域戦略プロジェクトの成果を中心に、林木育種センターや岩手県の担当者からの説明とそれに対する質疑応答が行われました。また、現地検討では岩手県が管理する採種園の管理方法について説明が行われ、採種園における受光伐、剪定、断幹等採種木の管理方法について意見交換が行われました。

地域戦略プロジェクトは今年度末で終了となりますが、苗木の効率的な生産方法を含め、その成果をマニュアルとしてとりまとめることとしています。今後も同マニュアルの普及を含め、カラマツ育種技術連絡会の活動を継続し、関係機関と連携してカラマツ種苗の安定供給に貢献していきたいと考えています。

(吉野総括審議役)

ほかに質問がないようでしたら、これで平成 30 年度第 6 回理事会を終了いたし

ます。次回は9月7日（金）に森林総合研究所で行います。

3．閉会